

平成 21 年度公募提案型市民協働事業

# 公開審査会 (プレゼンテーション)



日 時 平成 21 年 4 月 18 日(土)

午後 2 時

場 所 射水市役所小杉庁舎 303・304 会議室

射水市市長公室市民協働課

# 平成21年度公募提案型市民協働事業 公開審査会（プレゼンテーション）

日時 平成21年4月18日（土）  
午後2時

場所 小杉庁舎303・304会議室

- 1 開会
- 2 射水市市長公室長あいさつ
- 3 審査委員の紹介
- 4 審査会の進行説明
- 5 提案団体によるプレゼンテーション
- 6 審査委員長の総評
- 7 閉会

# 公開審査会（プレゼンテーション）の進行について

## 1 進行表

13:30	受付開始
14:00	審査会開会
	射水市市長公室長あいさつ
	審査委員の紹介
	審査会の進行説明
14:10	提案団体によるプレゼンテーション（5団体）
	（発表時間7分、質疑応答8分）
15:25	審査委員長の総評
	閉会

## 2 発表方法

- ・ 発表時間は1団体7分間とします。
- ・ 発表開始後6分経過時にベルを1回、7分経過時に2回鳴らします。
- ・ 発表後の審査委員からの質疑応答は8分間です。
- ・ 前の提案団体の質疑応答が始まりましたら、次の提案団体は速やかに発表の準備に取りかかってください。

## 3 その他

- ・ 提案団体の控室はありません。
- ・ 会場内の各団体の控え席で、発表まで待機してください。

# 審査基準等について

## 1 審査基準

- ・ 地域課題、市民ニーズの把握の的確性
- ・ 公益性
- ・ 団体等の特性
- ・ 役割分担の妥当性
- ・ 期待できる事業効果
- ・ コスト、サービスの質
- ・ 事業の実現性
- ・ 提案団体の実施能力
- ・ 提案団体の自立性、事業の継続性

## 2 事業決定

事業決定については、審査会の報告を踏まえ、市長が決定するものとします。

平成 21 年度 公募提案型市民協働事業  
発 表 順

	団体名	提案 テーマ	事業名	事業実施 予定期間	頁
1	特定非営利活動法人 環・日本海	健康づくり	自然食品でつくる交流ネット ワーク	平成 21 年 5 月 1 日 ～22 年 2 月 28 日	5
2	特定非営利活動法人 日本文化交流センター	自由テーマ	祭り音楽文化の伝承事業	平成 21 年 5 月 1 日 ～22 年 2 月 28 日	9
3	射水かるた実行委員会	自由テーマ	「射水かるた」の製作・普及	平成 21 年 4 月 27 日 ～22 年 1 月 30 日	13
4	特定非営利活動法人 健康 de ねっと	安全・安心	安心できる IT 社会にむけての 個人情報保護推進活動	平成 21 年 5 月 1 日 ～22 年 3 月 31 日	17
5	株式会社 大代設計	自由テーマ	防犯灯の維持管理業務	平成 21 年 4 月 日 ～22 年 3 月 31 日	21

## 射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 NPO 法人 環・日本海

事業の名称	自然食品でつくる交流ネットワーク	
事業の目的	(解決すべき地域課題と市民ニーズ) ・子どもの食育 ・地場産品の活用（農協&漁協に支援依頼） ・交流ネットワークづくりの前段としてイベントを開催	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	(どこで、だれに等) ・歌の森公園&シンクの使える福祉施設 ・幼児～中学校までの親子（又は祖父母等家族）で「美味しい弁当づくり」の企画案&作成者を公募 ・美味しい食材の苗の育成者を公募
	手法	(いつ、どのように、何を等) 1 5月～「安く栄養ある弁当献立の企画案（弁当のテーマ、デッサンと材料、対象など公募）」と「プランター製作者の公募」チラシを市内の教育施設に配布&マスコミ広報 2 農林水産業：第一次産業と協力し現地視察、先着100名の応募者に家庭で「堆肥を利用して射水の種&苗」射水市の特産物苗：小松菜&ブロッコリー等（育成に使用エコ堆肥と鉢プレゼント）指導者：学者&松本氏などに依頼しワークショップ開催。 3 8月末・・・（夏休みの課題としても提供し）に企画応募作品を審査し、優秀な弁当モデル企画者10人発表 4 10月・・・市内の収穫材料（主催者が準備）で公開制作コンテストをする（安全な台所施設を借用）：食育知識のある専門講師のワークショップも同時開催 5 弁当の公開制作コンテストと同じ日に「堆肥を利用した射水の種&苗収穫プランター」を市民が投票審査
	目標	(目的とする結果、数値基準等) 参加者：①応募者100人 但し親子やチームあり200人可能 ②ワークショップ（弁当づくり&苗育成の指導）では栄養士、調理師などの講師、農業指導者を講師として意見の質問&交流会を開催。子供から高齢者までが「作る事、育てる事」を通して「いのち」の尊厳を学びあう。

協働事業として取り組むことの必要性	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <p>1. 地域の安全、健康、地域の産業の活性化を「食べる事、食材の安全、育てる事、命はみんなを守られている事」を学びあう活動にしたい。NPO も産学官に関する人々の集まりであり、21世紀の若者に継承したい社会活動である。</p> <p>2. ワークショップをとおして市全体の生活の安全に貢献できる。</p>
役割分担	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <p>イベントの企画、運営進行と支援、学生（ボランティア大学や専門学校）の指導をします。</p>
	<p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <p>広報、ワークショップの支援、材料&amp;資材の搬入支援、関係機関との連絡調整</p>
事業スケジュール (別紙添付でも可)	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <p>5～6月 準備委員会期間、講師調整機関。 6～9月 公募期間 講師打合せ&amp;実行委員会を毎週1回 育成プランター渡し「育苗ワークショップ」は応募人数により、分けて開催（品種により異なるため） 7～8月 弁当アイデア企画の審査（関係者&amp;有識者） 10月 弁当の食育ワークショップ ：おいしい弁当制作コンテスト ：育成プランター成長コンテスト 11～2月 収穫交流と報告会を3回以上、報告書の作成</p>
事業効果	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ つくる事、育てる事から「命の尊厳」を共有できる。</li> <li>・ 地域の第一次産業への理解を深める。</li> <li>・ 子供から高齢者までの親睦を深める。</li> <li>・ 市民と行政との関りを日常生活から学び助け合う。</li> <li>・ NPO 活動に理解を深めボランティア活動活性化に貢献できる。</li> <li>・ 若者達が射水市の産業の大切さにも関心を深める。</li> </ul>
事業展開	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「育てる事、つくる事」ワークショップの継続を活動化する。 地域の食材を楽しく育成する喜びと価値を文化講演として展開。</li> <li>・ 弁当にしようした自然食品（インスタントでない）が射水市内で調達可能な地域経済の交流ネットワークをつくる活動（支援センター設立）を NPO で提案する。</li> </ul>

## 事業収支予算書

提案団体名 NPO 環・日本海

科目	金額	備考
<b>【収入の部】</b>		
自己資金	135,500	
事業収入		
野菜の即売会	20,000	(100~200円:食材残り即売)
寄付金	30,000	
射水市補助金(市民協働事業)	554,000	
収入合計(A)	739,500	
<b>【支出の部】</b>		
報償費(講師料)	300,000	調理師&栄養士 ★10,000×6名×3回=180,000  植物農産物育成講師 ★50,000×1名=50,000(学識者講師) ★5,000×7名×2回=70,000
会場賃借料(予備練習含み2回) (台所用具一式、冷暖房費含む)	30,000	社会福祉協議会支所・幼稚園・AMC等借用予定 (冷蔵庫を3日間借用予定)
会場設営費(テント設営・撤収含む)	199,500	テント5張(見積書添付)
食材購入費(野菜・魚肉・果物・米)	30,000	
育成プランター事業(講師料は上記)	170,000	
印刷製本費(指導資料本)		★50,000 @500×100名
種&苗&肥料		★50,000 @500×100名
折りたたみプランター		★50,000 @500×100名
堆肥&上記資材搬入費		★10,000
備品購入費(計量用具・シャベル等)		★10,000
通信費&消耗品費	10,000	
支出合計(B)	739,500	
収支差額(A)-(B)	0	



## 射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名            NPO法人            日本文化交流センター

事業の名称	祭り音楽文化の伝承事業	
事業の目的	(解決すべき地域課題と市民ニーズ) 1. 祭り音楽文化（市町村に伝承された祭り音楽）普及と発展 2. 「祭り音楽」を調査し、21世紀の子ども&市民伝承の形式考案	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	(どこで、だれに等) 調査発掘は各地域（新湊、小杉、大門、大島、下村） 対象者・市内在住の祭り文化実践者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りの支援者（自治会や神社など）</li> <li>・教育&amp;福祉の音楽活動支援者と活動チーム</li> <li>・公募で集まる市民</li> </ul>
	手法	(いつ、どのように、何を等) 祭り音楽の調査・発掘と楽器づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に伝わる祭り音楽を調査する。</li> <li>・射水市内の竹や塩ビ管、ペットボトルで楽器を作る。</li> <li>・創作楽器で射水の祭り音楽アレンジ&amp;創作演奏 Concert</li> <li>・手づくり楽器で再現した祭り音楽を公共プロのクラシック演奏家の指導期間の後に共同発表 Concert 実施。</li> <li>・「文化は市民が育てる」フォーラムを同時開催</li> </ul>
	目標	(目的とする結果、数値基準等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の祭り保存会に支援をお願いし、祭り音楽指導を依頼する（実践者5～8人）</li> <li>・子ども～高齢者まで「伝統を守る、伝承発展」に新しい試みを通して学びあい地域活性化をめざす。</li> </ul>
協働事業として取り組むことの必要性	(団体や行政の特性から説明してください。) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「伝統文化の祭り文化を理解し、いかに伝承発展させるか」を市民と行政、産学官みんなで学びあう必要がある。</li> <li>・現状の地方の祭りが、他の地域からの応援やアルバイトに依存している実態を把握し、改革の役割を担う。</li> <li>・ワークショップ講座と活動は市民と市職員が一緒に受けることで市全体の観光支援につながる。</li> </ul>	

役割分担	(提案団体が果たす役割)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントの企画、運営進行と支援、ボランティアの指導</li> <li>・ プロ音楽家（地域振興公共施設アーティスト）との連携交渉</li> </ul>
	(事業実施に伴う市の役割)
	<p>広報、ワークショップの支援、 関係機関との連絡調整</p>
事業スケジュール (別紙添付でも可)	(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)
	<p>5～6月 市民の公募期間、検討委員会と講師調整機関</p> <p>5～8月 (下村、大門、小杉、大島、新湊) 地域調査を持ち寄り 祭り音楽検討委員会の開催</p> <p>6月 楽器モデルづくり検討委員会の開催 プロ指導者を招き指導者用の講習会</p> <p>7～8月 音の出る管楽器、打楽器づくりの応募者を公募 5～10人チームにし指導講座開始(4回) 楽器づくり→海里山のイメージを音で作る→祭り音楽 にいかにか融合できるか指導→地域祭りメロディ練習</p> <p>9～11月 プロのクラシック演奏者と発表 Concert 「文化は市民が育てる」フォーラムを同時開催 産学官の市内在住者の代表をパネラーに意見交流会</p>
事業効果	(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政と協力したまちづくり、地域交流。</li> <li>・ 「簡単な楽器をつくること、それを基に音を作ること」で祭り文化を育て守る心を共感し市民が射水市の地域活性化に携わる。</li> <li>・ 地域文化の「共生、共感」の理解を深める。</li> <li>・ 子どもから高齢者までの親睦を深める。</li> <li>・ NPO活動に理解を深めボランティア活動活性化に貢献できる。</li> </ul>
事業展開	(協働事業終了後の事業展開)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「祭り音楽」を地域文化として育てる活動の組織を小学生から呼びかけ“日本文化の普及継承の活動組織をNPOでつくる。</li> <li>・ 地域おこし＝市外の人々に観光魅力を伝え、市内外若者(留学生を含む) &amp; 在留外国人にも今後の実行委員参加の募集を継続する。</li> </ul>

## 事業収支予算書

提案団体名 NPO 日本文化交流センター

科目	金額	備考
<b>【収入の部】</b> 自己資金 事業収入  寄付金 射水市補助金 (市民協働事業)	1000,00 0  64,250 450,000	(入場整理券のみ発券)
収入合計(A)	600,000	
<b>【支出の部】</b> 報償費 (講師料)  交通費補助  会場賃借料  材料購入費 (竹、紙、エンビ管、木材など)  資料印刷費  通信費&消耗品費	320,000  63,000  134,500  36,750  30,000  30,000	楽器づくり講師 (管、リズム楽器) 10,000×4人×3回=120,000 音づくり講師 (祭り笛、太鼓) 10,000×5人×(2~3回)=100,000 クラシック奏者 (フルート1 & 尺八 P1) 50,000×3人=120,000 (1拍2食 10,000×3人×4日間) 21,000×3人=63,000(東京~富山の往復)  小杉文化ホール:76,500 楽器搬入出舞台後見料 30,000 音楽院終日練習 7,000×4回=28,000 (Gピアノ、琴5、和太鼓4)の借用含む)  30~50人対象のモデル費用 例(カスネット@200×50人×税=10,500 笛、マラカス@500×50人=26,250)
支出合計(B)	614,250	
収支差額(A)-(B)	0	



## 射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 射水かるた実行委員会

事業の名称	「射水かるた」の製作・普及	
事業の目的	<p>(解決すべき地域課題と市民ニーズ)</p> <p>射水市が誕生して3年が経ち、合併当初のような旧市町村のしがらみは薄れてきてはいますが、自分たちが住んできたまちのこと以外はよく知らないのが現状です。</p> <p>自分たちが生まれ育った、あるいは生活している地域の魅力や価値を知り、後世に語り継ぎたい射水の歴史、時代へ残していきたい自然や文化等を「かるた」にすることで、より郷土愛を育み、一体感の醸成を図ることを目的とします。</p>	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	<p>(どこで、だれに等)</p> <p>対象地区は射水市 各種団体や子どもたちを含む射水市民を対象</p>
	手法	<p>(いつ、どのように、何を等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かるたの読み札やキーワードを募集し、10月までに「射水かるた」を製作する。</li> <li>・読み札の裏には解説文を付ける。</li> <li>・11月1日に「射水かるた」を発表する。</li> <li>・1月に市民かるた大会を開催する。</li> </ul>
	目標	<p>(目的とする結果、数値基準等)</p> <p>「射水かるた」を家庭や学校などで遊ぶことによって、遊びながら自分たちのまちを深く知り、郷土の宝を探求し、その魅力に気づくことで、郷土愛が芽生えることを目標とする。</p> <p>かるたの募集数 500通 かるた大会参加者数 100人</p>
協働事業として取り組むことの必要性	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <p>「かるた」を製作するには色々な方の協力がないとより完成度の高いものできないと考える。市民と行政それぞれが持つ情報や知識を出し合い、また、大人から子どもまで色々な人が携わり話し合うために、協働事業として取り組みたい。</p>	

役割分担	(提案団体が果たす役割)															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体のネットワークを活かした読み札等の募集</li> <li>・「射水かるた」の製作・普及</li> <li>・市民かるた大会の企画・運営</li> </ul>															
	(事業実施に伴う市の役割)															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報等でのかるた製作の啓発、読み札等の募集</li> <li>・市が所有する情報の提供</li> </ul>															
事業スケジュール (別紙添付でも可)	(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)															
	<table border="1"> <tr> <td>4月下旬</td> <td>準備期間</td> </tr> <tr> <td>5月上旬～6月下旬</td> <td>読み札、キーワードの募集</td> </tr> <tr> <td>7月上旬～7月中旬</td> <td>読み札の選定</td> </tr> <tr> <td>7月下旬～8月下旬</td> <td>絵札製作</td> </tr> <tr> <td>9月～10月</td> <td>かるた製作</td> </tr> <tr> <td>11月1日</td> <td>「射水かるた」発表</td> </tr> <tr> <td>11月、12月</td> <td>かるた大会準備</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>かるた大会</td> </tr> </table>	4月下旬	準備期間	5月上旬～6月下旬	読み札、キーワードの募集	7月上旬～7月中旬	読み札の選定	7月下旬～8月下旬	絵札製作	9月～10月	かるた製作	11月1日	「射水かるた」発表	11月、12月	かるた大会準備	1月
4月下旬	準備期間															
5月上旬～6月下旬	読み札、キーワードの募集															
7月上旬～7月中旬	読み札の選定															
7月下旬～8月下旬	絵札製作															
9月～10月	かるた製作															
11月1日	「射水かるた」発表															
11月、12月	かるた大会準備															
1月	かるた大会															
事業効果	(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「射水かるた」を通じて射水を再確認し、郷土愛を育むことができる。</li> <li>・市民と行政、また、大人から子どもまで色々な人が関わることで、一体感の醸成を図ることができ、だれもが認める「射水かるた」を作ることができる。</li> </ul>															
事業展開	(協働事業終了後の事業展開)															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の学校へ配布し「射水かるた」の普及を図る。</li> <li>・毎年継続してかるた大会を実施していき、「射水かるた」を郷土かるたとして根付かせ、普及させていく。</li> <li>・道の駅や絵本館等でお土産品としての販売を計画する。</li> </ul>															

## 事業収支予算書

提案団体名 射水かるた実行委員会

科目	金額	備考
【収入の部】		
射水市補助金	1,000,000	
(社)射水青年会議所	200,000	
寄付金・協賛金等	100,000	
一般頒布売上	140,000	
収入合計(A)	1,440,000	
【支出の部】		
資料・調査費	30,000	資料コピー・撮影
謝礼費用	210,000	絵・句作者・公募賞品
かるた印刷費	600,000	本体・箱 1000セット製作
印刷データ制作費	120,000	絵札・読札・箱・解説書
かるた大会運営費	300,000	会場費・設営・運営
広報費	100,000	公募・普及PR
会議費	30,000	
通信費	20,000	
予備費	30,000	
支出合計(B)	1,440,000	
収支差額(A)-(B)	0	



## 射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 健康deねっと

事業の名称	安心できる IT 社会にむけての個人情報保護推進活動	
事業の目的	<p>(解決すべき地域課題と市民ニーズ)</p> <p>「個人情報保護法」が平成17年4月に全面施行されましたが、残念なことに今日になっても個人情報漏洩のニュースが絶えません。また一方では過剰な反応も社会問題となっています。本事業では公共性の高い「公務」と「教育学習支援業」(*)を中心にセミナーを行い、個人情報保護法の正しい理解、および個人情報保護対策の必要性を認識してもらいます。また、活動を通して作成した資料を広く無料配布します。</p> <p><small>※業種の分類は、総務省統計局「日本標準産業分類(平成14年3月改訂)」を参考しました。</small></p>	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	<p>(どこで、だれに等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校、学習塾などで個人情報を扱っている方</li> <li>● 公務で個人情報を扱っている方</li> <li>● その他、個人情報保護に関心のある方</li> </ul>
	手法	<p>(いつ、どのように、何を等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 5月：対象者へのアンケート実施</li> <li>● 7～9月：セミナーの実施(計4回)</li> <li>● 3月：フォローアップセミナーの実施(計2回)</li> <li>● 6月～3月：パンフレット、Q&amp;A集の配布</li> </ul> <p>セミナーでは一方的な講義ではなく、受講者といっしょに個人情報の取り扱いに関するケーススタディを通して運用のコンセンサス形成につながるような議論を行います。</p>
	目標	<p>(目的とする結果、数値基準等)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. セミナー参加者目標 60人 (6回の合計)</li> <li>2. パンフレットとQ&amp;Aを作成し、配布</li> </ol>
協働事業として取り組むことの必要性	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <p>個人情報の漏洩事故や過剰対応によるトラブルの解消には、市民の個人情報の保護に関する正しい知識の共有と運用のコンセンサスが必要と考えています。しかし、NPO法人だけでこの目標を実現させるのは困難です。ぜひとも行政の協力を得たいと考えております。</p>	

役割分担	(提案団体が果たす役割)	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アンケートの実施</li> <li>2. セミナーの企画、運営</li> <li>3. フォローアップセミナーの企画、運営</li> <li>4. パンフレットとQ&amp;Aの作成</li> </ol>	
事業スケジュール (別紙添付でも可)	(事業実施に伴う市の役割)	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. セミナーの告知・広報</li> <li>2. 会場提供</li> </ol> <p>その他にも、行政として必要があればセミナーの講師をやっていただければと思います。</p>	
事業スケジュール (別紙添付でも可)	(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)	
	四半期をPDCAサイクルで区切ります。	
	5～6月 (計画フェーズ)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事例収集</li> <li>2. 関連する法律・条例の調査</li> <li>3. 内閣府など関係省庁の資料を調査</li> <li>4. アンケート実施</li> <li>5. セミナー準備(パンフレットの作成)</li> </ol>
	7～11月 (計画実行フェーズ)	セミナー4回
	11～12月 (チェックフェーズ)	セミナーのフォローアップ内容の検討 Q&Aの作成
1～3月 (行動フェーズ)	フォローアップセミナー 2回	
事業効果	(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)	
	<p>本事業を行った結果、市民の個人情報保護法に関する正しい理解が広まると共に、個人情報保護・漏洩防止策の必要性の認識が高まれば、個人情報の漏洩事故や過剰反応によるトラブルを未然に防止する効果が期待できます。</p>	
事業展開	(協働事業終了後の事業展開)	
	<p>平成22年4月からは、啓蒙活動から一步踏み出し、自治体や学校が個人情報の保護・漏洩防止対策を実施する際の支援事業を行います。具体的には保護対策用のソフトウェアの導入支援やテクニカルサポートを行います。また、個人情報に関係する業務の受託を予定しています。</p> <p>その他には、最近では自治体の入札条件にもなることがある「Pマーク」を取得するための支援事業を一般事業者に向けて行う予定です</p>	

様式第3号 (第6条関係)

## 事業収支予算書

提案団体名           NPO法人健康deネット          

科 目	金 額	備 考
<b>【収入の部】</b>		
1. 自己資金	70,000円	
2. 事業収入	30,000円	(受益者負担500円x60)
3. 射水市補助金(公募提案型市民共同事業)	300,000円	
<b>収入合計(A)</b>		
<b>【支出の部】</b>		
1. 調査費	50,000円	(取材費、謝礼など)
2. 人件費	30,000円	(5000円x6回x1人)
3. 交通費	20,000円	
4. 会場賃借料	0円	
5. 通信費	10,000円	
6. 消耗品	10,000円	(印刷用紙、インク代など)
7. パンフレット製本費	180,000円	公開されている料金表より (1000部)
8. Q&A製本費	100,000円	公開されている料金表より (1000部)
<b>支出合計(B)</b>		
<b>収支差額(A)-(B)</b>		
	400,000円	
	0円	



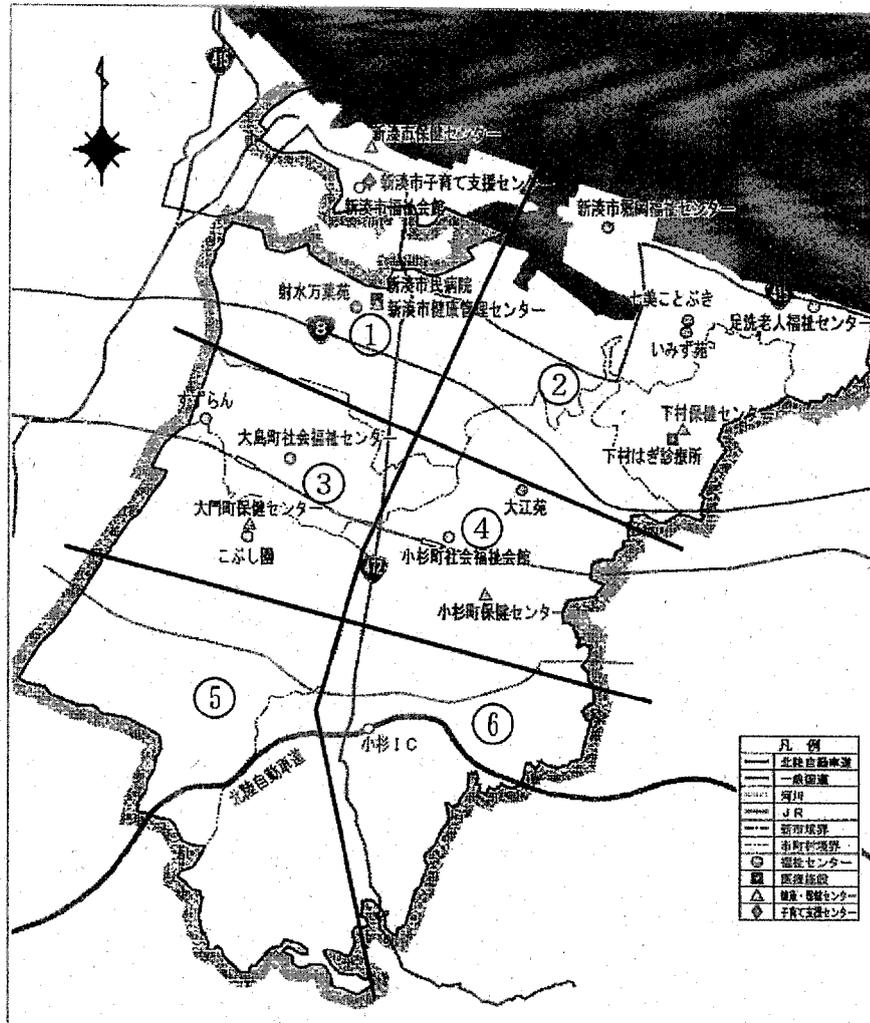
射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 株式会社 大代設計

<p>事業の名称</p>	<p>防犯灯の維持管理業務</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>(解決すべき地域課題と市民ニーズ)                  市では27地区それぞれで維持管理する方法を示されましたが、                  ・従来は窓口が一本であったのを27地区に分散すれば非効率となる。                  ・地域振興会に作業内容のチェックは出来ず公金を扱うには不適當。                  ・現行の業者任せの出来高払い方式ではコストアップ要因となる。</p> <p>防犯灯の個別のデータを管理し耐用時間直近に交換することにより、故障通報による球の取替方式より市民の安全・安心に寄与する。又、長寿命タイプの蛍光灯の使用によるコストダウン、省エネ器具への転換により、理論的には現在の技術でも50%の電気料金の引き下げが見込まれます。</p>	
<p>事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)</p>	<p>対象</p>	<p>(どこで、誰になど)                  全市対象とし、フリーダイヤルによる受付とする。                  故障通報ありがとうございますをこころ掛ける。</p>
	<p>手法</p>	<p>(いつ、どのように、何をなど)                  いろんなパターンが考えられますが、行政は単年度予算方式であるので、予算内での最適な器具、蛍光灯等の使用方法を提案し、実績による精算方式とする。                  別紙参照</p>
	<p>目標</p>	<p>(目的とする結果、数値基準など)                  ・故障通報による修理の激減を目指す。                  ・集中的に一括して取替を行うことによる修繕単価の低減を図りながら、コストダウンした費用で計画的に環境配慮型照明機器への転換を進め、消費電力を抑え電気料金の引き下げを図る。</p>
<p>協働事業として取り組むことの必要性</p>	<p>(団体や行政の特性)                  行政はともすればイニシャルコスト(初期費用)を重視し、ランニングコスト(管理費用)を含む長期視点でのトータルコストという考えはあまりない。                  民間はたえず激しい競争にさらされており、お客さまサービスの向上とコストダウンは当然であり、民間委託した方が市民サービスの向上と経費縮減になる。</p>	

役割分担	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <p>継続的な改善プロセスの繰り返しを行い、市と協議しながら最適の方法を求めてゆく。          イニシャルコスト+ランニングコスト=トータルコスト          トータルコストの低減を図るための方策の提示、実行</p>
	<p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <p>提案する計画のチェックと効果の確認、検証</p>
事業スケジュール	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>準備期間は2～3ヶ月必要とし、市と打合せの上実施する。事業の評価は毎年度ごと行う。</li> <li>初期投資(2～3年間)はある程度予算を増額し、それ以降は成果が出た分で再投資に廻していく考えです。</li> </ul> <p>又、照明器具も日進月歩であり、最適のものを使用して行く。</p>
事業効果	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蛍光灯20Wの場合、コスト削減はあまり見込めないが照度が約2倍となるので、新設要望に対し地区内での間引で代替する方法も有り、総数抑制を図る。又照度アップは市民の安全、安心度が増す。</li> <li>水銀灯の場合、照度が上がりながら電気料金引き下げになる。</li> <li>照明器具、蛍光灯等の購入にあたってはスケールメリットを生かしコスト削減に反映させる。</li> </ul>
事業展開	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <p>この事業は単年度で終わるものではなく、引き続き展開していくことでより大きな成果が出るものです。</p>

## 防犯灯維持管理業務の提案について



- 射水市をブロック分割し、ブロックごとに全蛍光灯を一斉に取替え、一灯当たりの取替費用のコストダウンを計る。
- 定格寿命の長い蛍光灯の使用によるコストダウンを計る。  
8,500時間 → 12,000時間 (1.4倍) 製品価格は少し高いが人件費部分が多い
- 一巡したら、コストダウンした費用で高効率蛍光灯に切替え、電気料金の引下げを目指す。  
12,000時間 → 60,000時間 (器具共交換)
- 器具の個別のデータを管理することによりコストパフォーマンスの最適化を目指す。

### メリット

- ① 故障通報による修理が激減し、市民の安全、安心に寄与する。
- ② 器具の故障についてもデータ管理から、耐用時間直近に取替える方式とする。
- ③ 最新のデータを基にたえず最適の取替時期、方法を検討し、コスト・パフォーマンスの最適化を図る。
- ④ 外灯を高効率蛍光灯に切替えて行くことにより、電力料金の引き下げを目指す。

事業収支予算書

提案団体名 株式会社 大代設計

科目	金額	備考
収入合計(A)	円	
支出合計(B)	円	
収支差額(A) - (B)	0円	